

平成27年度関東高等学校女子バスケットボール大会 第69回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

平成27年6月6日(土)

Aブロック

準々決勝

富士北麓公園体育館

Aコート

第6試合

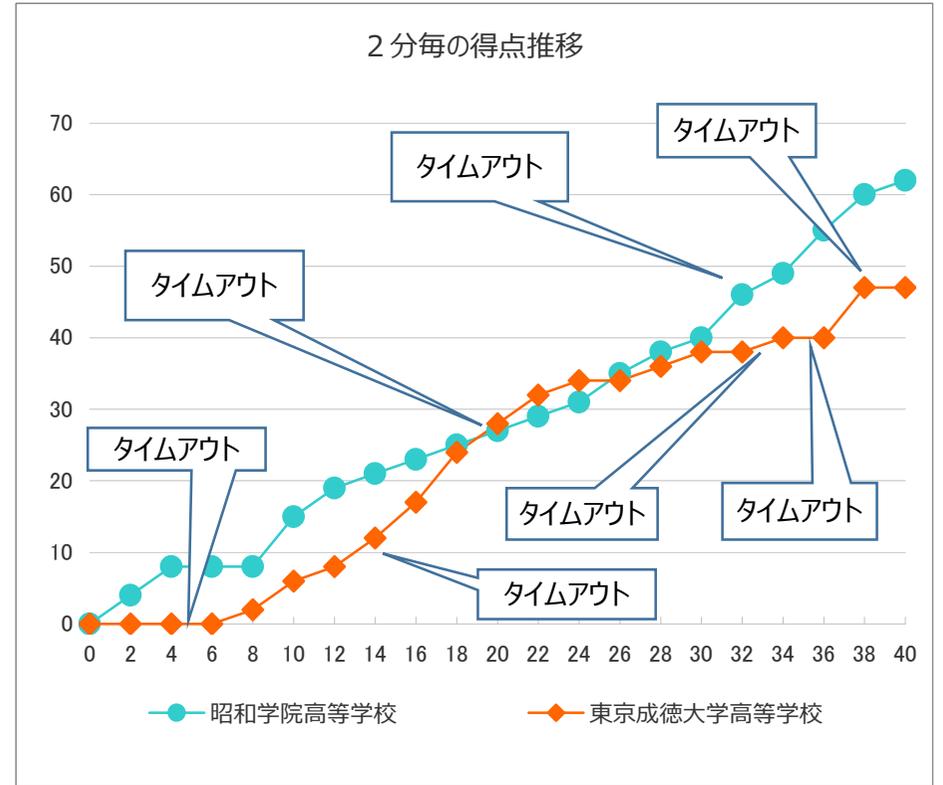
チームA		15	1st	6		チームB
昭和学院高等学校 (千葉県)	62	12	2nd	22	47	東京成徳大学高等学校 (東京都)
		13	3rd	10		
		22	4th	9		

Aチーム： 昭和学院高等学校

No.	S	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			TO
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
4		荻野 あかり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	*	中村 美羽	10	0	0	2	11	6	7	4	4	8	12	2
6		小野尾 梨紗	7	1	1	2	5	0	0	1	0	1	1	5
7	*	山本 由真	6	0	0	3	11	0	1	2	2	6	8	0
8	*	赤穂 ひまわり	24	0	1	10	16	4	7	1	3	11	14	4
9	*	山本 加奈子	11	1	8	4	5	0	0	4	4	3	7	1
10		安藤 礼乃	2	0	0	1	4	0	0	0	0	1	1	1
11		篠原 由梨香												
12		齋藤 絢												
13		田中 咲弥												
14	*	笠置 晴菜	2	0	3	1	3	0	0	0	0	2	2	1
15		宗形 真李												
16		佐古 愛												
17		大塩 菜々子												
18		山下 詩織												
HC/TEAM		鈴木親光												
		合計	62	2	13	23	55	10	15	12	13	32	45	14

Bチーム： 東京成徳大学高等学校

No.	S	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			TO
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
4		巻島 千夏												
5		沼田 稚菜	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
6	*	松本 まさみ	13	3	9	2	16	0	2	0	3	5	8	1
7	*	大原 咲織	0	0	0	0	4	0	0	5	0	4	4	1
8		澤田 萌	12	0	9	6	12	0	0	1	3	1	4	3
9		青菅 芙汰巴	5	0	3	2	3	1	2	2	2	8	10	2
10		渡辺 真央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11		五老 アミナ												
12	*	小沼 康乃	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	1	1
13		木村 亜美	5	1	5	1	2	0	0	4	1	2	3	2
14	*	植松 莉佳	8	0	0	4	5	0	0	4	2	4	6	1
15	*	神崎 璃生	4	0	0	2	4	0	0	2	0	0	0	1
16		濱西 七海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
17		坂牧 祐里												
18		清水 智央	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
HC/TEAM		遠香 周平												
		合計	47	4	26	17	51	1	4	18	12	26	38	13



戦評

記事者：塩沢 和明 (山梨県高体連)

1Q、立ち上がり昭和学院⑤のフリースロー④のジャンプシュート⑨のスチール⑧のゴール下シュートが決まり入り4分で8-0とする。その後は両チームともディフェンスが良くなり4分間ノーゴール。残り2分東京成徳④のジャンプシュートが決まりゲームが動く。昭和学院は⑧が落ち着いて連続ゴールを決め、東京成徳⑤のシュートが決まったところで15-6昭和学院がリードして終了。2Q、両チームとも激しいディフェンスが続き、お互いにリバウンドを譲らない。入り2分頃から東京成徳のオールコートディフェンスが効き始め、残り5分⑩の3Pで21-15とする。さらに東京成徳は⑧のリバウンドシュートや⑥の3Pで得点を重ね、残り3分を切ったところで⑭の1on1が決まりついに23-24と逆転に成功、お互いに得点を重ね27-28東京成徳1点リードで終了。

3Q、立ち上がりからペースをつかんだのは東京成徳。⑧のジャンプシュート⑭の1on1で得点し27-32と引き離しにかかるが、昭和学院は⑧がゴール下の得点を積み重ね、残り4分で35-34と再逆転に成功する。お互いに相手のディフェンスに苦しみ、得点が伸びず40-38昭和学院2点リードで終了。4Q昭和学院は⑥のゴール下のシュートでペースをつかみ、開始2分⑤から⑧のハイロープレーが決まり、46-38となったところで東京成徳TO。TO後東京成徳のディフェンスが修正され昭和学院のリズムが悪くなり残り6分46-40で昭和学院TO。東京成徳はこのTO後ディフェンスを2-3のゾーンに変更するが、昭和学院はあわてることなく⑨と⑥の連続3Pを決め、52-40となったところで東京成徳2度目のTO、ディフェンスをマンツーマンに戻す。昭和学院は⑤⑧のリバウンドシュートや⑦の1on1、東京成徳は⑭の1on1や⑥の3Pで応戦し、最後は62-47昭和学院の勝利で終わった。

両チームともディフェンスが鍛え上げられており、リバウンド争いなどとても見応えのある好ゲームであった。

主審	副審
河野 仁 (山梨県)	深澤 雅俊 (山梨県)